

女性学連続講座

20世紀後半に成立した女性学は、現代社会と文化の構造をジェンダーの視点から分析する新しい研究領域です。新たな発見と学びの場に、是非御参加ください。ご希望の講座のみの参加も可能です。

第1回 2014年11月8日(土) 13:20~14:50 1号棟405教室
「日本の女性参政権論とジェンダー:1920~1930年代を中心に」

遠藤恵子(城西国際大学助教)

日本での女性参政権成立は1945(昭和20)年のことであるが、女性参政権の検討は戦前、女性運動家だけでなく、政策決定過程に関わる男性によっても行われていた。ここでは、内務官僚の著作等の紹介と検討を通じて、ジェンダー研究の可能性を考えてみたい。

第2回 2014年11月22日(土) 13:20~14:50 1号棟405教室
「映像の中の〈家族〉——現代の日本映画を通して」

長谷川 啓(城西短期大学客員教授)

「そして父になる」が第66回カンヌ国際映画祭審査員賞を受賞したが、ここ数年、家族について描いた日本映画に優れたものがある。ここでは、この受賞作品他、「誰も知らない」「オカンの嫁入り」「幸福な食卓」「ツレがうつになりまして。」を通して、現代の家族像を追究してみたい。まさに現代社会の鏡だからである。

第3回 2015年1月10日(土) 13:20~14:50 1号棟405教室
「日本近現代女性文学にみる求愛の表現」

岩淵宏子(城西国際大学大学院客員教授)

近現代女性文学に描かれた求愛の表現に着目し、私的表現のなかに公的領域に属する問題系が色濃く投影されていることを検証したい。取り上げる作品は、近代文学では樋口一葉『十三夜』・田村俊子『彼女の生活』・宮本百合子『伸子』、現代文学では山田詠美『ベッドタイムアイズ』の予定。

【場所】学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス (東京都千代田区紀尾井町3-26)

交通アクセス: 東京メトロ有楽町線麴町駅下車1番出口より徒歩3分、半蔵門線・永田町駅9番出口より徒歩5分、

丸ノ内線・銀座線赤坂見附駅D出口より徒歩8分、JR中央線四ツ谷駅より徒歩10分

* 駐車場は備えておりませんので、公共の交通機関をご利用願います。

【受講料】無料

【申し込み・問い合わせ】メールでのお問い合わせ: 城西国際大学ジェンダー女性学研究所 igws@jiu.ac.jp

お電話でのお問い合わせ: 城西国際大学国際人文学部事務室 tel 0475-53-4644 fax 0475-55-7494